

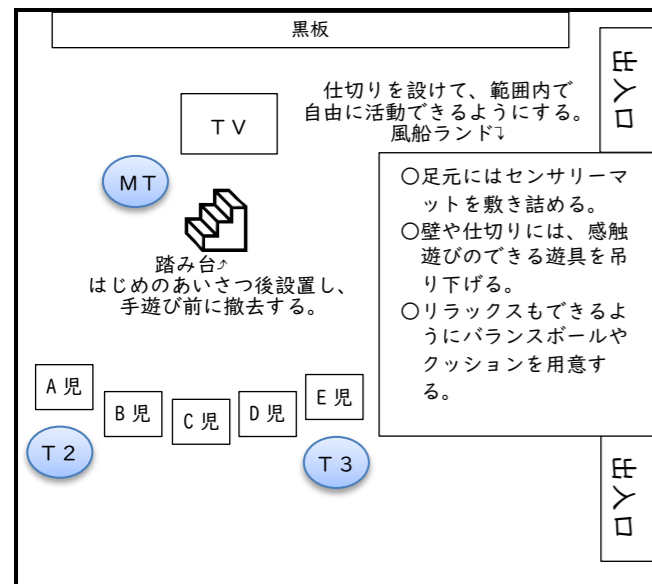
授業づくりシート

領域名 自立活動

6 学年

テーマ	遊びの中でバランス感覚や筋力を使って、主体的に取り組もう。	
事例児の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・手すりがあれば一段一步で階段昇降を行うことができる。(身体の動き) ・筋力を使う姿勢の保持が苦手である。(身体の動き) ・身体の動かし方にぎこちなさがあり、階段で踏み出す際や慣れない動きをするときは、身体がこわばったり、スムーズに動けなかったりする。(身体の動き) ・尖足歩行の傾向がある。(身体の動き) 	
事例児の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の支援を受けながら様々な動きに挑戦することができる。(身体の動き) ・筋力を意識した運動に取り組むことができる。(身体の動き) ・踏み台昇降では足裏全体を使ってバランスをとることができる。(身体の動き) 	
活動内容と具体的な手立て		
活動内容	ねらい	具体的な手立て
風船ランド	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活（歩行、姿勢保持、作業など）に必要な基本的な筋力を養う。 ・遊びの中で全身運動に取り組み、バランス感覚や目と手の協応性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組めるように、興味関心のある遊具を用意する。 ・足場に様々な床材を用意し、踏んだときにバランスをとる動きを引き出す。
踏み台昇降	<ul style="list-style-type: none"> ・下半身の筋力向上。 ・足裏全体を使ったバランス感覚を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定性のある踏み台を使って、足裏のバランスを高める。 ・遊びの中で行うことで主体性を高める。
手遊び歌	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい曲に合わせて身体を動かし、安心や楽しさが感じられるようにする。 ・模倣する力を身に付け、主体的に行うことができる、様々な動きにつなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単純なリズムの曲を使用し、手本となる動きは大きく、ゆっくりと行う。 ・繰り返し同じ手遊び歌に取り組み、児童が動きを習得する時間を確保する。

○場の配置



○教材教具等

- ・風船ランド内の遊具（風船・ゴムチューブ・スライムや水を入れたビニール袋・リボン等）
- ・センサーマット（風船・水・芝マット等）

- ・足元にはセンサーマットを敷き詰める。
- ・壁や仕切りには、感触遊びのできる遊具を吊り下げる。
- ・リラクソスもできるようにバランスボールやクッションを用意する。

- ・バランスボール
- ・木製の踏み台（高さ 15 cm）
- ・足形
- ・TV
- ・仕切り

○展開

時配	活動内容	教師の支援等
9:50	○初めの挨拶 ○呼名	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で明るい雰囲気を大切に、活動への期待感を高める。 ・名前の呼名では、児童の前に手を出し、拳手を促す。
9:52	○風船ランドで遊ぼう ・準備運動 →手首と足首を振り、肩を回す。 ・自由遊び *風船マット *水マット *芝マット *卵パック *ペットボトルキャップ	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムを意識できるよう音楽をかける。 ・安全のため、教師は必ず側で見守り、必要に応じて手をつなぐ。 ・特定のマットを嫌がる場合は避けさせ、本人が心地よいと感じる感覚を大切にします。 ・表情や体の動きから、児童が何を感じているかを読み取り、言葉にして共感する。
9:57	○踏み台昇降運動 ・木製の踏み台（15cm）で踏み台昇降	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒防止のため、必ず側で補助につく。 ・必要に応じて手をつなぎ、安全を第一に考える。 ・できたことを具体的に褒め、達成感を味わえるようにする。怖がる場合は無理強いせず、できる高さから始める。
9:03	○手遊び歌（クールダウン） ・「むすんでひらいて」 ・「てをたたきましょ」	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がゆっくり、大きな動きで手本を見せ、模倣する楽しさを伝える。 ・うまくできなくても、参加していること自体を認め、楽しい雰囲気で終われるようにする。
10:08	○振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ったことやできたことの振り返りを行い、次回の活動への意欲につなげる。
10:10	○終わりの挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイタッチなどで肯定的な関わりを持ち、満足感とともに授業を終えられるようにする。

○成果と課題

○遊びの要素を活動に取り入れ、楽しい雰囲気を維持したことで、本人の主体的な動きを引き出すことができた。

○センサーマットでは、好きな感覚を見つけるため、「苦手な感覚を避けてもよい」という環境を設定した。強制されない雰囲気に安心したのか、足裏では触れずとも、自ら手で触れて感触を確かめるなど、探索的な行動が見られた。

○踏み台昇降においては、手を支えて姿勢を安定させることで、足裏でバランスを取る感覚を促すことができた。

○簡単な手遊び歌を継続して行った結果、曲に合わせて自ら身体を動かす機会が増えたり、拍手や足踏みなどの簡単な動作の一部を模倣したりすることができるようになった。

△センサーマットにおいて、好きな感覚を見つけることができた一方で、その好きな感覚に執着してしまい、一つの活動場所に留まってしまう様子が見られた。今後は、本人の好む感覚を起点にしつつ、興味や活動の幅を広げられるような適切な促しや環境設定が必要であると考えます。